

# 日本福祉のまちづくり学会全国大会 論文発表要領

## 2024年 第27回 札幌大会用

※代理発表は一切認められません。

※会場に備えられた PC 用プロジェクター以外からの投影はできません。

### 1. 全国大会での発表形式

#### 1-1. 特定課題研究発表論文について

発表者のプレゼンテーション(講評者からの「講評」の紹介を含む)は10分程度、その後の質疑応答は10分とし、別途セッション終了時に全体を総括した質疑時間を15～20分程度設ける。質疑討論を十分に行えるよう、本人発表時間は厳守すること。また、上記の通り、発表者は自身の研究発表の後、「講評」に対しても見解を述べるができる。投稿数によっては変更になる場合がある。発表時に支援(合理的配慮)が必要な場合は、研究発表申し込み時に具体的な支援の内容などを申し出ること。なお、すべてのお申し出にこたえられないことがあることをご理解いただきたい。発表はパワーポイントを使用して行うことを原則とする。

#### 1-2. 一般論文について

発表時間10分、質疑時間5分を標準的な発表時間とする。ただし、投稿数によっては変更になる場合がある。発表形式については、特定課題研究発表論文と同様に、パワーポイントを使用して行うことを原則とする。質疑討論を十分に行えるよう、本人発表時間は厳守すること。発表時に支援(合理的配慮)が必要な場合は、研究発表申し込み時に具体的に必要な支援の内容を申し出ること。なお、すべての申し出にこたえられないことがあ

ることをご理解いただきたい。

#### 1-3. 発表時に支援が必要な人への対応

論文発表者が自身のもつ身体的あるいは精神的特徴により、何らかの支援(合理的配慮)を必要とし、申込時に申し出があった場合は、誠意をもって以下の対応を行う。なお、全国大会では、発表も論文賞の審査対象となることから、対応は以下のとおりとする。

- ・発表者は、音声読み上げソフトや事前録画を利用する際は、申し込み時にその旨を申告する。
- ・事前録画の場合、音声読み上げソフトの利用まで可。過度な演出はしない。
- ・原則として発表時間の延長は、認めない。
- ・その他、障害による合理的配慮の提供について申し出があった際は、誠意をもって対応する。なお、大会運営に影響が生じる、以下の対応はしない。
- ・大会運営にかかる本来業務ではない場合
- ・本質にかかわる変更が生じ、もしくは学会の目的を損なう場合
- ・本人以外との比較において、同等の機会の提供の範囲を超え、公平性を損なう場合
- ・人的、費用的等の負担が過剰となる場合

### 2. 発表の仕方についてのお願い

#### 2-1. 発表時の発話、指示

本学会には、障害により、情報の受け取り

方に配慮が必要な方も参加されており、発表に際しては以下の点に留意のこと。

#### (1) 図表等の指示

視覚障害者に配慮して、図表、写真は丁寧にその内容を説明することが望ましい。また、「こちら」「この辺」などの指示語は用いず、「右の上部」などと具体的な画面の位置を示す言葉を用いることが望ましい。

#### (2) 発話

聴覚障害者、発達障害者などに配慮して、早口では話さない。できる限りゆっくりときちんとした発話をするを心がける。

### 2-2. 発表スライドの作成

発表時のスライドを作成する際は、見る人の色覚の多様性を考慮し、印刷時の色飛びや印刷効果、カラー表示に配慮する。一般に次のようなことがいわれている。

#### (1) 色づかい

- ・背景を黒色、文字を白とすることは、コントラスト（明るさの差）が強く、視覚障害者ばかりでなく一般に判読しやすい。逆に背景を白色、文字を黒色にする方がよいという者もいる。
- ・コントラストが強いと、感覚過敏がある人には読みにくくなることもある。黒を濃灰色、濃紺にすると、コントラストは弱まり、視覚刺激は低減する。
- ・使用するフォントは、線が太く線と線の間隔などにも配慮され比較的映写したときに読みやすい創英角ゴシック UB を推奨する。また、フォントサイズは最低 24 ポイント以上とすることが望ましい。

#### (2) 文字や図形の色

文字や図形に色を付ける際には、濃い色の背景でも十分に認識できる明るい色を用いる、識別しにくい色の組み合わせを避けるなど配慮することが望ましい。

#### (3) 1 ページ当たりの情報量

スライドの 1 ページにたくさんの情報を載せず、図表、写真は、1 ページに 1 枚程度とすることが望ましい。記載する文章は、長い文章ではなく、できる限りキーワードのような短文で表現することが望ましい。

#### 【参考】

- ・色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法  
(<http://www.nig.ac.jp/color/>)

### 3. 問い合わせ

質問等は、E-mail を用いること。

【発表登録、原稿投稿に関する問い合わせ先】  
日本福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク  
E-mail: [jais-desk@bunken.co.jp](mailto:jais-desk@bunken.co.jp)

【その他、大会に関する問い合わせ先】  
第 27 回全国大会（札幌）実行委員会  
E-mail: [info-sp@fukumachi.net](mailto:info-sp@fukumachi.net)